

## ほほえみ 第16号



3月を迎えました。例年、3月というと春めいてきて、心が軽くなる季節なのですが、今年は、昨年の大震災の記憶が蘇ってくるようで、何とも沈痛な気がします。盛岡はさほど被災しませんでした。今でも、ガソリンは小まめに入れるようにしていますし、長期的な地震の予測に関しても敏感にならずにはられません。

## 限界状況ということ

「限界状況」とは、哲学者のカール・ヤスパースの言葉です。人間がどうしても逃れえない重圧のもとにあえぐような、ぎりぎりの状況を言います。ヤスパースは死・苦・争・責の4つを挙げたようですが、東洋だと生・老・病・死が四苦といわれていますね。明日も来年も、そして平均寿命まで何事もなく平和に過ぎていくのではないかという感覚、この感覚には、根拠がないことを突きつけられるとき、破局感や足場の喪失といわれる世界観の喪失が起こると考えられています。

神谷美恵子の言葉を借りれば、

ひとはそれぞれの生涯のなかで、ちがった時期に、ちがった形で、人生の行手にたちふさがるこの壁のようなものにつきあたり、その威力を思い知る。その時には必ず生きがいということが問題になるであろう。このような悲しみと苦しみにみちた人生もお生きるのに値するのかと。自分はこれから何を生きがいにして生きていったらよいのかと。  
「生きがいについて」

化学療法を受ける方には、このような局面が避けられないように思います。再発が見つかったとき、化学療法の効果が得られるかどうか未定の時、そして治療の変更、中止といった場面です。限界状況にぶつかった後に訪れる感情は、疎外感、無意味感、不安、悲しみといったもので、いずれもツライ感情です。つい、「つらいけど、がんばろう。」とか、言う場合がありますが、これはその場限りの言葉であって、本当の支えにはならないことが多いようです。

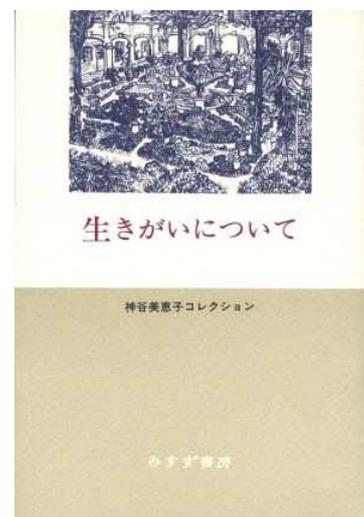
実際には、限界状況から‘そろそろ’と抜け出していくには、時間が必要と言われていきます。人間の心はショートカット出来ないのです。でもツライ事実と向き合った時、食欲はないかもしれませんが、やはりお腹は空くのです。心がつらい時は、身体の生命力がその間を黙々と支えるものらしいです。

「人生いばらの道、にもかかわらず宴会」

がん哲学外来で使われる、大切な言葉です。恐らく、この言葉でつらい時期を乗り越えた人は大勢いらっしゃるでしょう。樋野先生の言葉ですが、「にもかかわらず」は新渡戸稲造の大好きだった言葉と伺っています。私も時折、この「にもかかわらず」という言葉を心の中でつぶやいて見るのですが、心に粘りが出てくるというか、何となく問題を別の角度から眺めることができるというか、不思議な力のある言葉だと思います。

注) 生きがいについて

神谷美恵子の代表的著作。書店では、女性エッセイストのコーナーに置かれていたりしますが、内容はかなり深いです。神谷美恵子は、新渡戸稲造に「ほっぺ」をつねってもらった子供(文部大臣であった前田多門の娘で、稲造の秘蔵っ子、日本語よりフランス語の方が堪能であった。)です。



## 第11回 みんなで学ぼうチームオンコロジーへ参加して・・

がん化学療法科 福田耕二

2012年1月21日～22日、青森県観光物産館アスパムにてチーム医療に関する研修会が行われました。アスパムは青森駅近く、港のそばにある三角形の建造物です。名称がわからなくとも形を憶えている方もいると思います。

チーム医療のチームとはなんでしょうか。ここでのチームとは共通の使命や信念をもち、望ましい将来像や世界観を共有した集団を意味します。医師・看護師のみではなく、薬剤師・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどの多職種が含まれ、それぞれの専門性を発揮して患者さんの満足度を高めることを目指します。

ではさまざまな職種を要するチーム医療で、基本となるものは何でしょうか？答えはコミュニケーションです。様々な職種が患者さんの事を中心に考えると多様なこだわりが現れてきます。これらのこだわりをチームの中で共有するためにはコミュニケーションが充分にとられている必要があります。自分の意見が話しにくいチームは充分機能しているとは言えないのです。また医師にはチームリーダーとしての役割がありますが、決してワンマン社長のような役割ではありません。医師だけの力では患者さんの満足度を上げることはできません。チームリーダーとしてコミュニケーションを大切に、様々な専門職が自らの能力を十分発揮できるように舵取りを行うことで、はじめて患者さんが求める医療が実現できるものと考えられます。

というようなチーム医療を実践するため、研修を行ってきました。討論では仮の患者さんを設定し、医師・看護師・薬剤師などでそれぞれの専門とするこだわりを熱くぶつけ合いました。その上で導き出した治療方針は、チームとして十分納得のできる内容でした。我々は患者さんを中心としたチーム医療を行っています。



## 脳のワーキング・メモリー

人間にはハエのように小さい飛行機械を作ることできないし、それを制御するハエの脳の動きを、その機械に搭載することも不可能です。生物は大きいほうが見栄えもするのですが、周囲を見渡すと、小さな生物にこそ生命の不思議を感じずにはいられません。

さて、人間の人間たる働きは脳の活動にあるだろうと思いますが、人間の脳はワーキング・メモリーの点で制約が大きいと思われれます。人間の脳は一度に覚えられるのは7つまで、20秒経つと記憶から一旦消されます。情報の単位をチャンクというそうですが、人間では7±2チャンクまでが限界だそうです。また情報の同時並行処理はできないといわれています。

聖徳太子は10人の話を聴いて、適切な答えをしたとされていますが、同時に聞いて理解し、返答を考えたとしても人間業ではないことがわかります。実際には、順番に10人の話を聴き、その後で適切な返答をしたという説が有力とのこと。それでも、時間が経つと最初の話の内容がワーキング・メモリーから消えていくので、やはり神業と言えるでしょう。

新渡戸稲造が留学していた時に、苦学されていたので秘書として働いていたことがあるようです。その際に仕えていた、ハーバート・アダムスという歴史の大家は、300～400ページの本を一時間に3冊ぐらい読んだとのこと。稲造が読んだ後をチェックすると、大事な所には、皆印がついているそうですが、それも極めて所々であった由。すなわち、大部分は既に既知の事柄で、著者が新たに付け加えた見解だけを見れば内容がわかったということですね。脳は使い方次第でもあるようです。



## MEMO

### 3月のがん化学療法科の予定

3月3日	ひな祭り
3月9日	柴田教授外来
3月16日	新渡戸稲造記念 メディカル・カフェ
3月20日	春分の日
3月23日	柴田教授外来

